

B キット組立てマニュアル

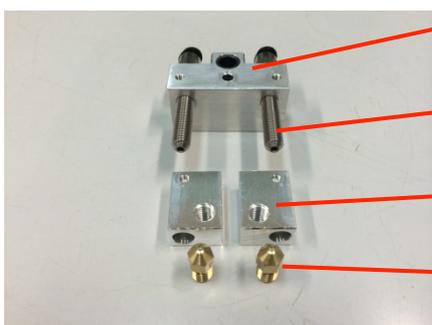
b-5 デュアルノズル用ヘッドの組立編

このマニュアルはデュアルノズルの BS01 を新規に組み立てする方の為のマニュアルです。

ヘッドのパーツを準備します。

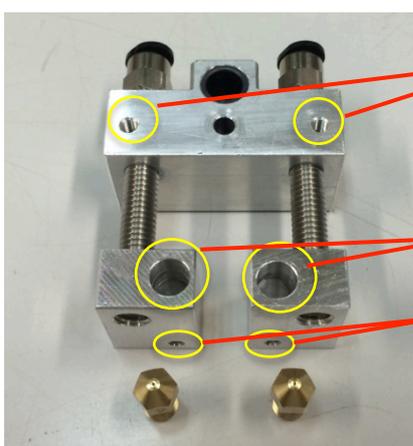


No.9 ヘッド部品の袋と
デュアル追加部品



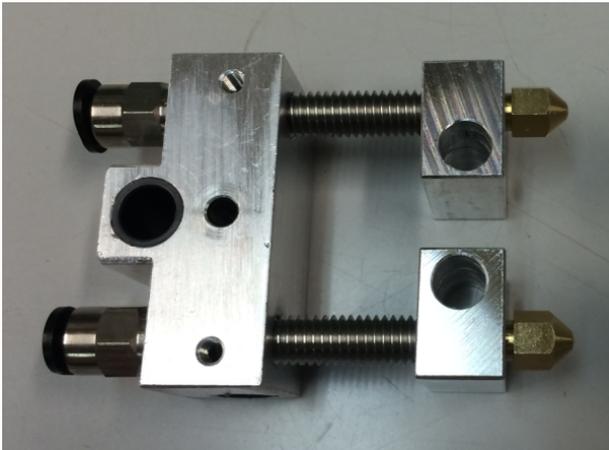
ヘッドブロック
シリンダー
ヒーターブロック
ノズル

ヘッドブロックには予めチューブ継手 2 個とシリンダー 2 本(M6 全ネジ)が固定されています。

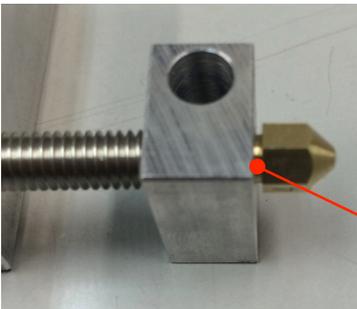


M3 ねじ山が二つ見える面が上
 $\phi 6$ ヒーター穴がこの向き
M3 ねじ山がこの面

この向きでシリンダーにヒーターブロックを取り付けます。
シリンダーにヒーターブロックを写真の取付け方向で 2~3 周入れて下さい。



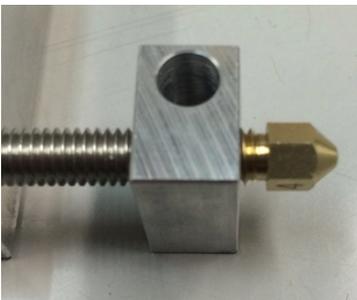
ヒーターブロックにノズルをねじ込みます。
ヒーターブロック内部でシリンダー先端とノズルが密着するまでノズルを回します。
※シリンダーのねじとノズルのねじ規格は M6 ピッチ 1.0 です。1 回転で 1mm ネジ込みます。



この位のノズルの位置が適正です。

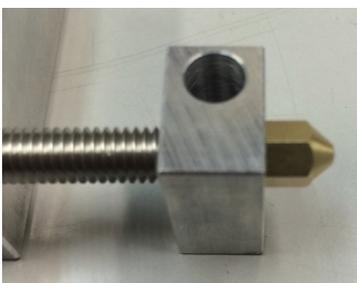
隙間が開いていて、隙間が 1mm 以内

この隙間 1mm 以内



間隔が広すぎます。

この隙間が広すぎます。
間隔を調整するには、ヒーターブロックを反時計回りに一回転させます。



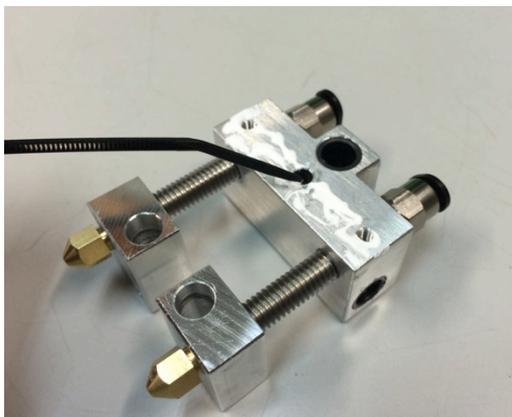
ヒーターブロックとノズルが密着しています。
この状態では、ヒーターブロック内部でノズルとシリンダーが密着していない可能性があります。
間隔を調整するには、ヒーターブロックを時計回りに一回転させます。

ヒーターブロックとノズルの距離が適正に調整出来ました。
この段階でノズルもヒーターブロックも仮止め状態です。

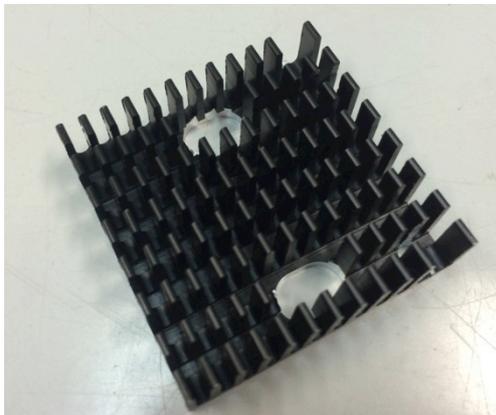


冷却ファンを取り付ける準備をします。

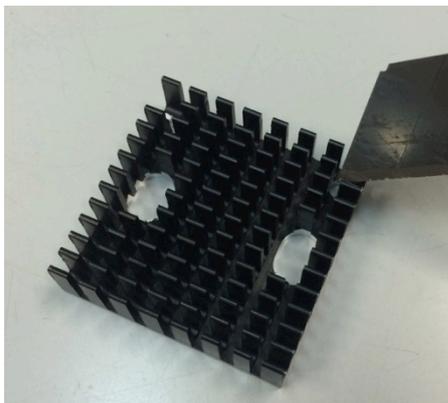
No.12 の配線パーツの袋に入った白い導熱グリスを準備します。



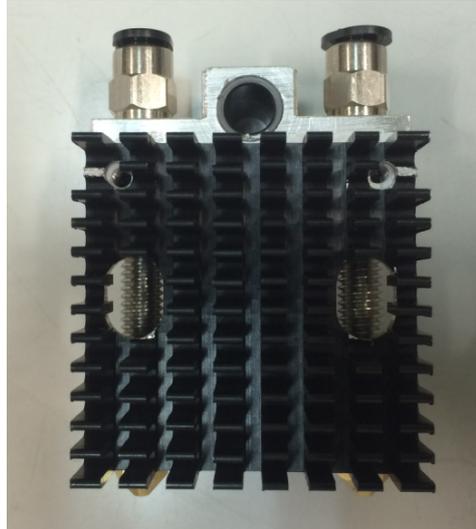
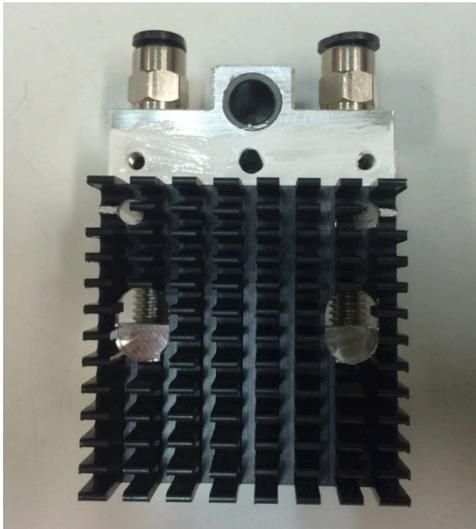
つま楊枝や結束バンドの端で導熱グリスを写真のように塗布します。



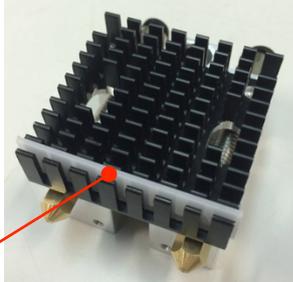
2つ大きな穴の開いているデュアル用ヒートシンクを準備します。



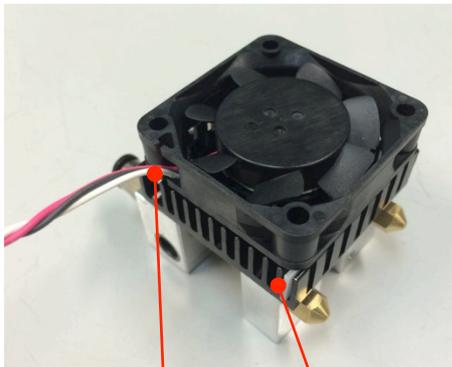
カッターでバリを取って下さい。
※カッターの取扱に注意して下さい。
小さな穴2箇所、大きい穴2箇所、加工時のバリが残っています。造形時に振動でポロポロとクズが落ちない程度にブラブラしているバリを取って下さい。



先ほど塗布した導熱グリスの面に穴を合わせてヒートシンクを乗せます。
ヘッドブロックのネジ穴とヒートシンクの穴を合わせます。

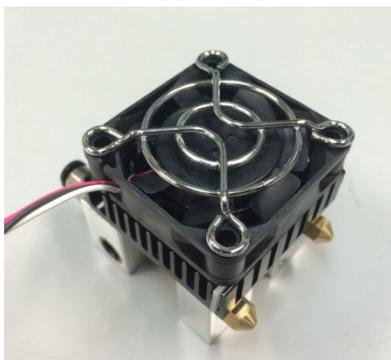


風ストップの保護フィルムを剥いて、ヒートシンクのノズル側に挟みます。

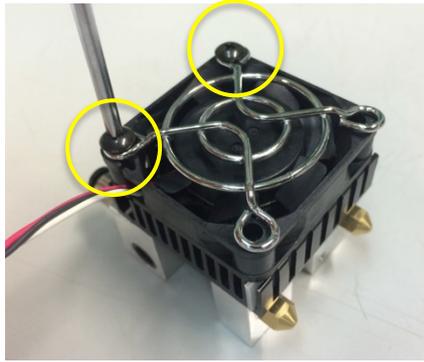


ファンをこの向きで乗せます。

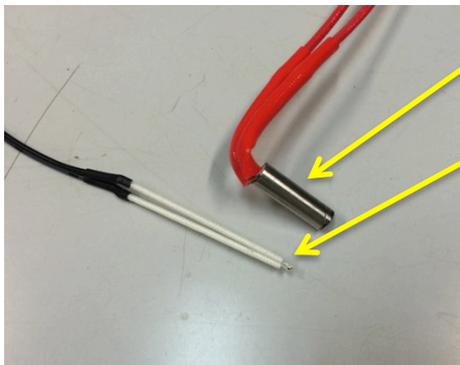
電線位置 風ストップ位置確認



フィンガーガードを乗せます。

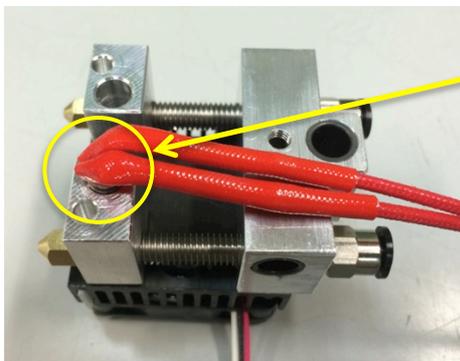


No.1 ねじ・ナット 12 の袋に入っている M3-25 トラスネジで固定します。
冷却ファンの取付けが終わりました。



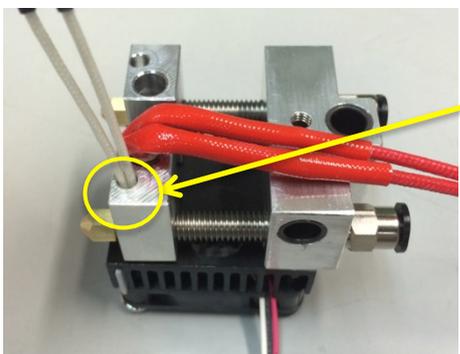
カートリッジヒーター
と
サーミスターを出します。

2つのブロックに取り付けるヒーターの容量・サーミスターの規格は全く同じものです。



カートリッジヒーターを挿し込みます。

※予め配線を L 字に加工してあります。
(角度の微調整はして下さい。)

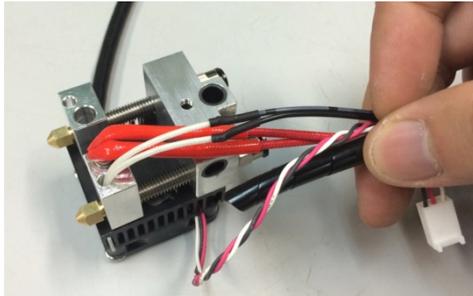


サーミスターを挿し込みます。

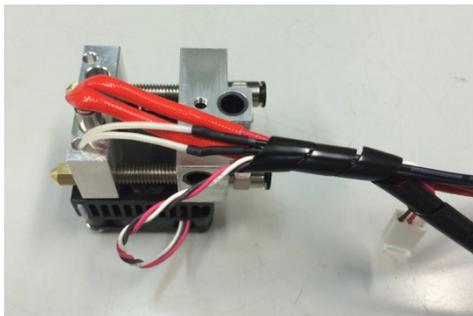
※サーミスターの本体付近の芯線はとて細く破断し易いので取扱に注意して下さい。



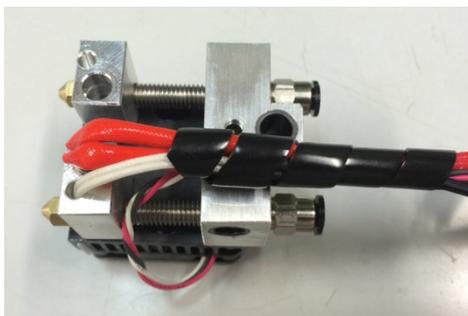
No.12 配線パーツの袋に入っている
スパイラルチューブを 60 センチにハサミ
で切断します。



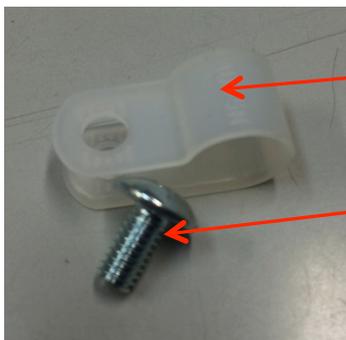
ヒーター線・サーミスター線
ファンの電源線をまとめて
スパイラルチューブを巻きます。



ヒーター本体・サーミスターから離れた
ところで巻いたほうが、電線に負担がか
かりません。

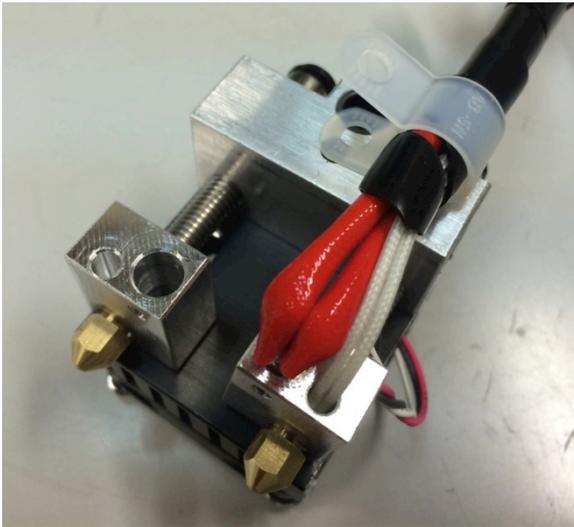


スパイラルチューブをこの位置までゆっ
くりずらします。
その際にサーミスターの線に負担が掛か
らないように注意して下さい。

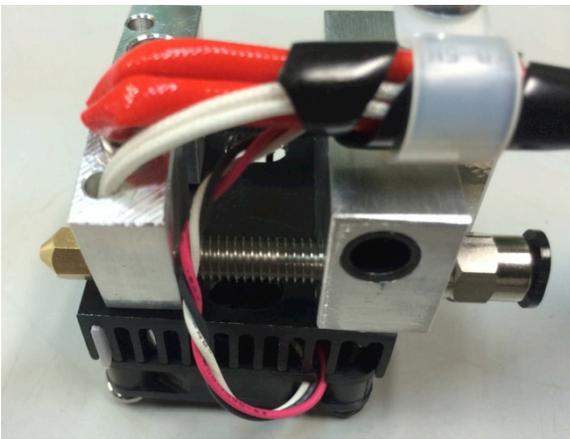


ケーブルクランプ
と

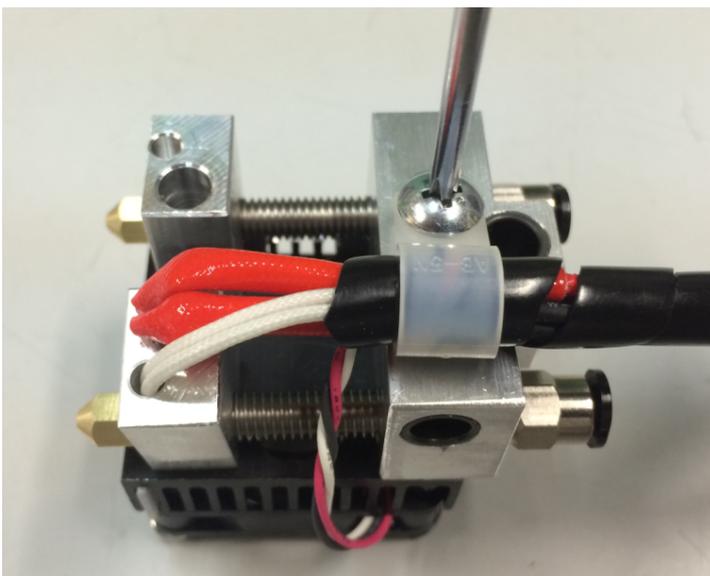
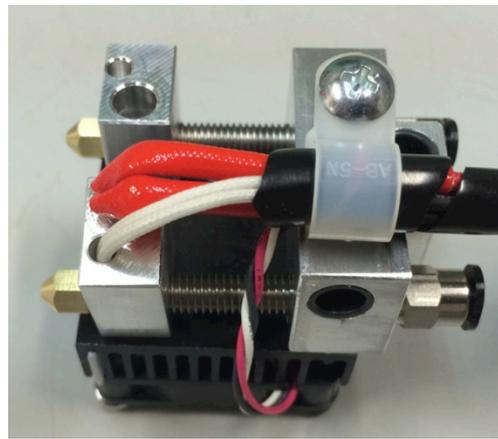
トラスねじ M4-8 を準備します。



ケーブルクランプをスパイラルチューブの外側に取り付けます。



ファンの電線がヒーターブロックやシリンダーに接触しないように整えます。(弛んでいる線を少し引っ張って修正)



サーミスターが穴の底まで入っていることを確認して下さい。

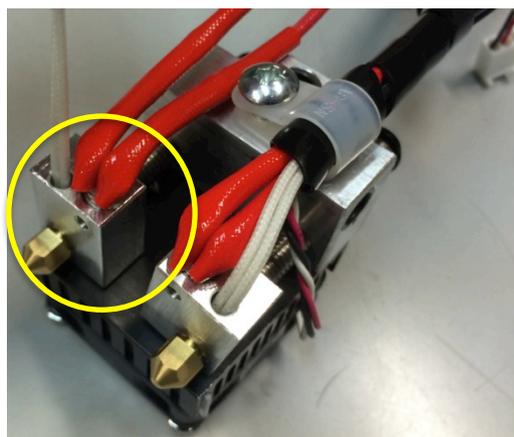
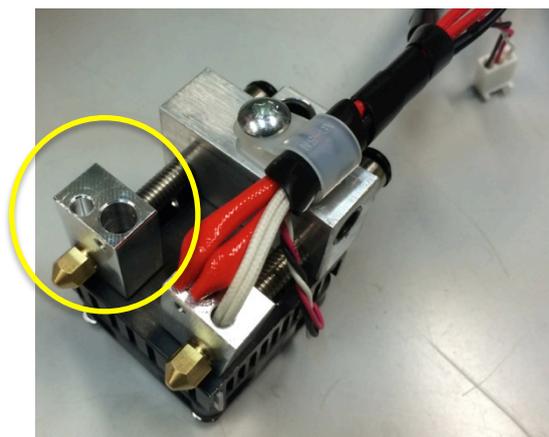
M4-8 トラスネジで、ケーブルクランプを仮止めします。

ねじは真っ直ぐ入れて下さい。

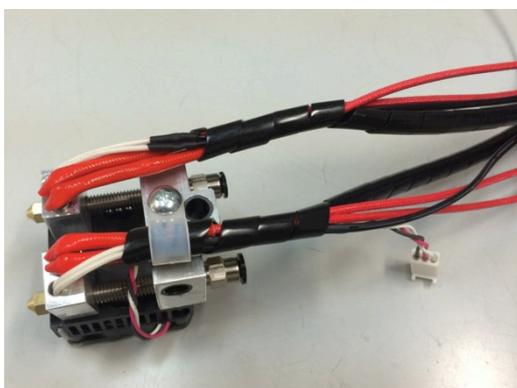


まだ取り付けていない方の
ヒーターとサーミスターを準備します。

2つのブロックに取り付けるヒーターの容
量・サーミスターの規格は全く同じもので
す。



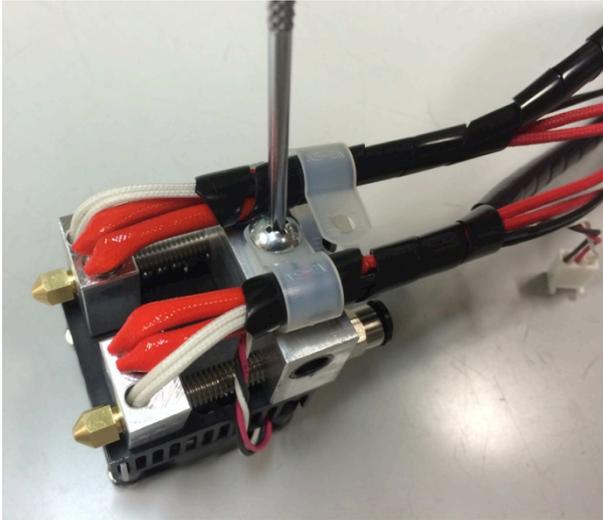
ヒーターとサーミスターを取り付けます。



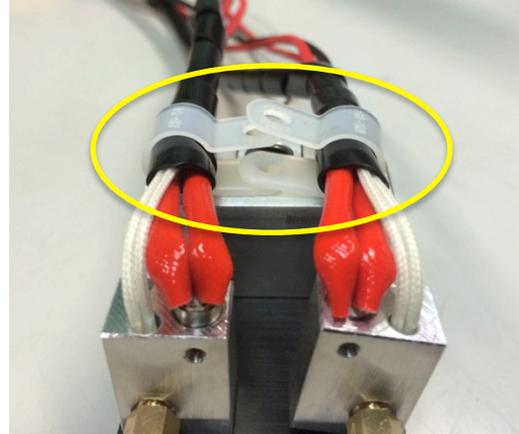
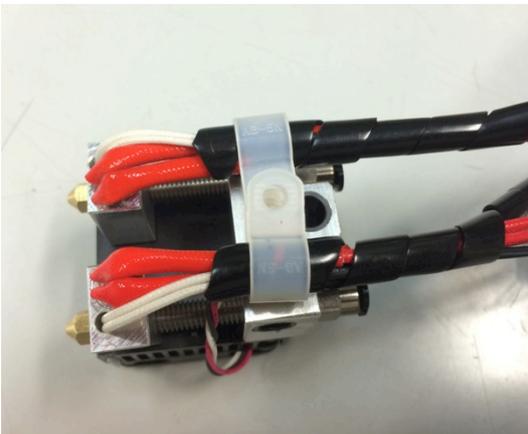
スパイラルチューブを巻きます。



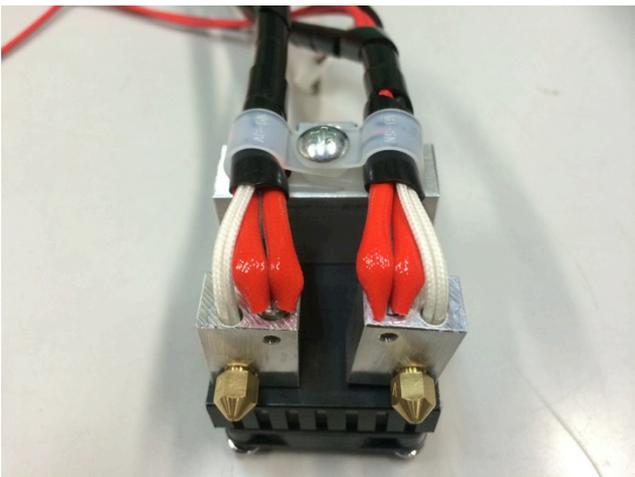
チューブを寄せて、ケーブルクランプを取り付けます。



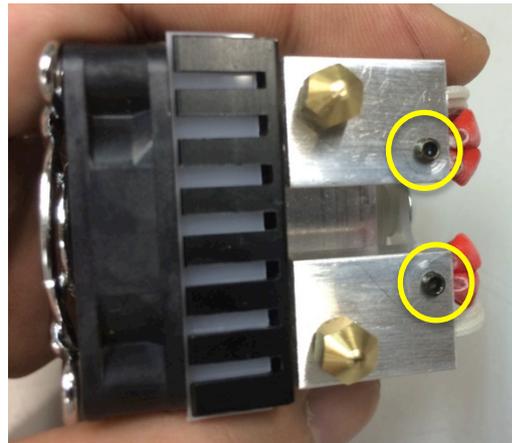
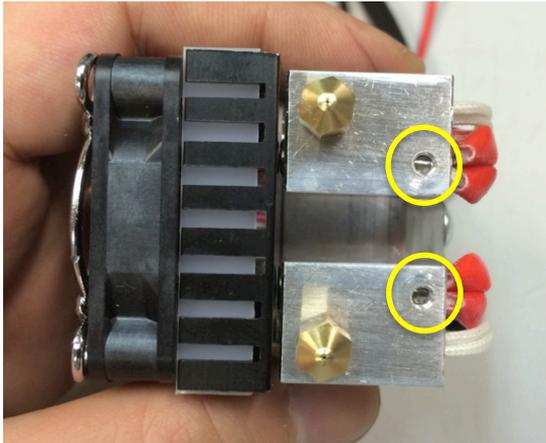
ケーブルクランプ2つを共締めするために、一度 M4-8 トラスねじを外します。



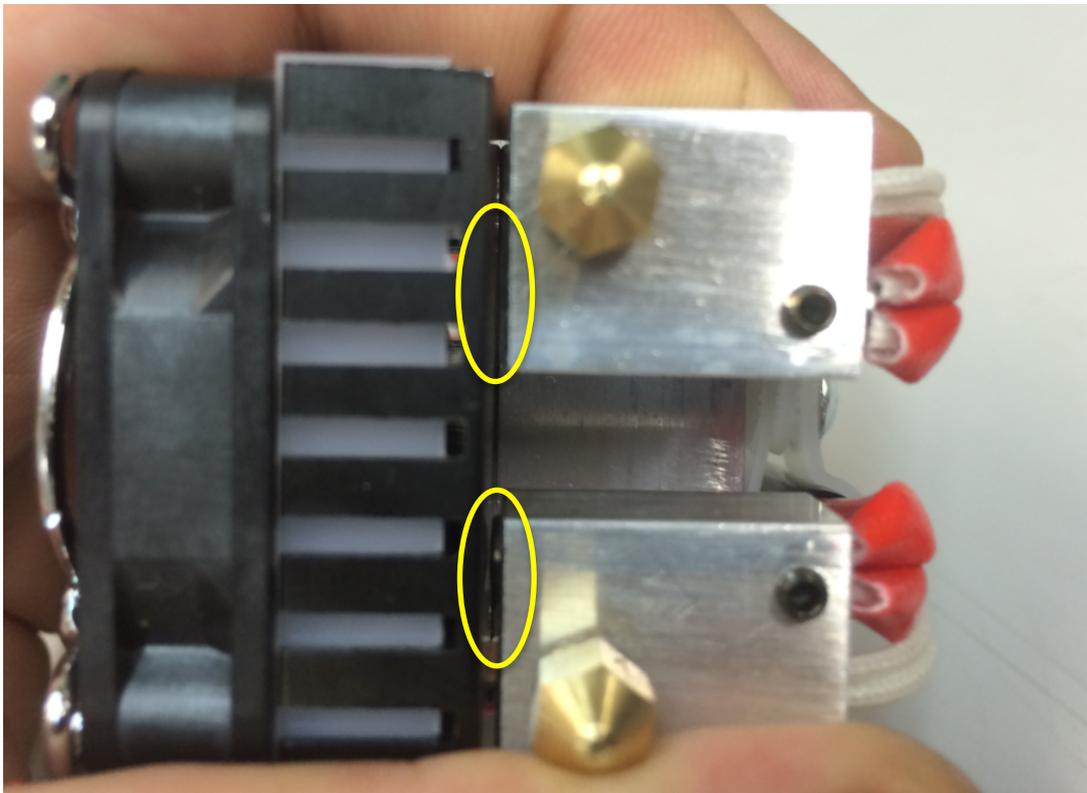
2つ目に付けたケーブルクランプを寄せます、このようになります。



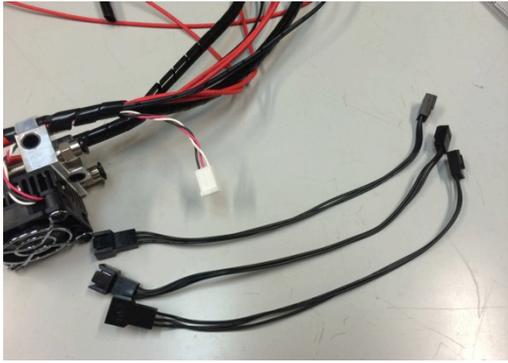
再度 M4-8 トラスねじでケーブルクランプを固定します。



ノズルの面に見える二箇所の M3 のタップ穴に、M3-3 ホーローセットを仮止めします。



黄色丸の部分を観察して、貫通したヒーターがヒートシンクに接触していないか確認して下さい。(この部分の間隔の理論寸法は 1mm です)
接触していたらヒーターを少し引いて、ヒーターブロックと面位置くらいにして、ホーローセットを締めて下さい。

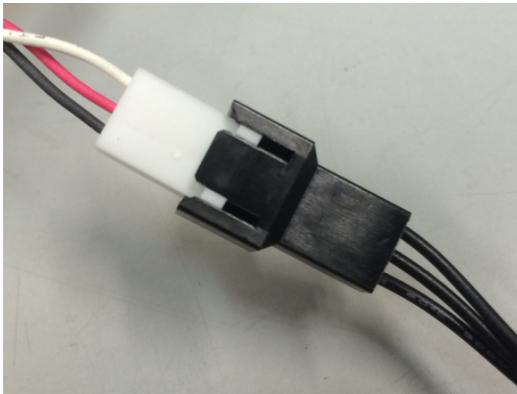


ファン延長ケーブル3本を繋ぎます。

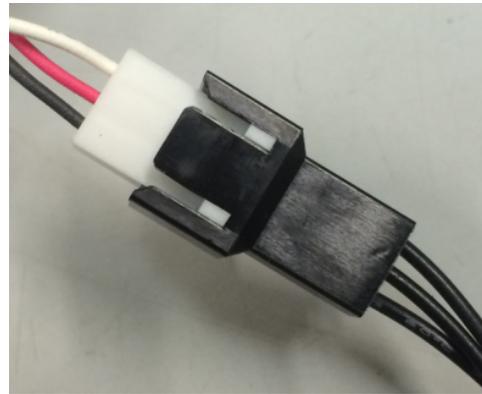


このように1本にします。

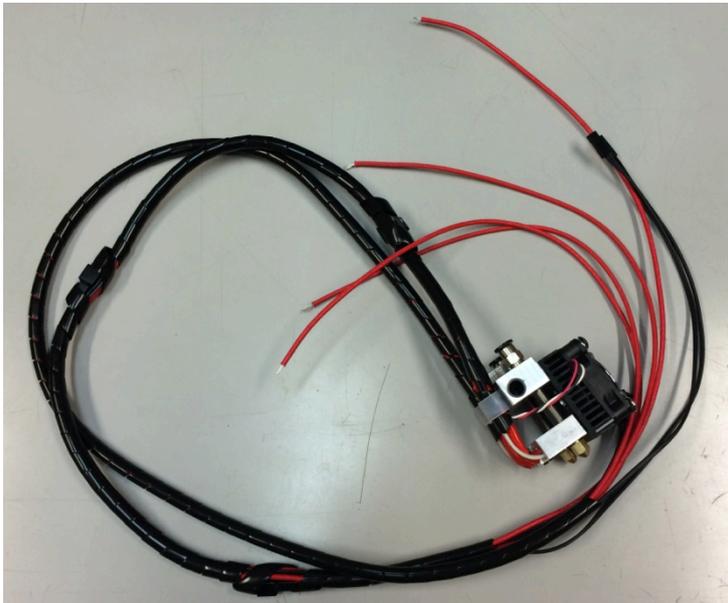
ファンのコネクタとファン延長ケーブルを繋ぎます。



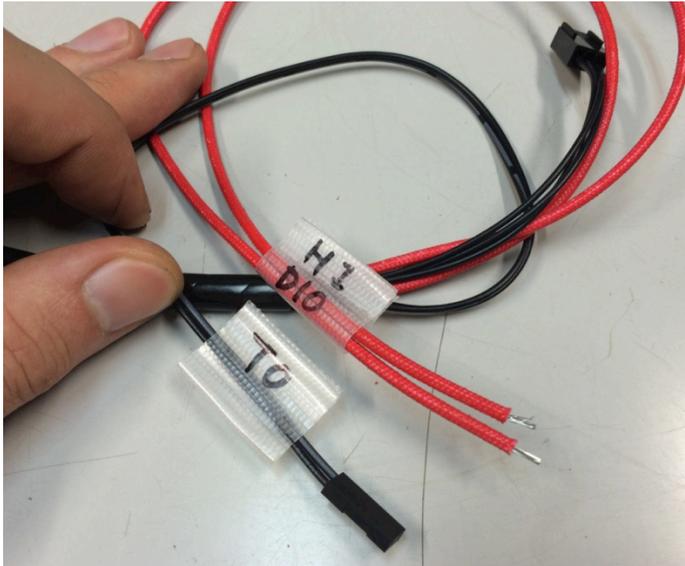
この接続は浅すぎてNGです。



しっかり奥まで挿し込んで下さいOK



ヘッド付近のみ巻かれていたスパイラルチューブを全て巻きます。



ファン延長ケーブルと一緒に巻かれた方のヒーターの線とサーミスターの線にテープでマークします。

ヒーター線 : H1 D10

サーミスター線 : T0

後ほど配線時 D10 の端子と T0 の端子に接続します。

1st ノズル用です。



残りの先にもマークします。

ヒーター線 : H2 D9

サーミスター線 : T2

後ほど配線時 D9 の端子と T2 の端子に接続します。

2nd ノズル用です。

これでデュアル用のヘッドが完成しました。